

## 自主防災組織訓練が実施されました

11月27日の五霞町防災の日（11月最終日曜日）に、町内全行政区で自主防災組織の訓練が実施されました。

当日は、午前8時30分の防災行政無線によるサイレンを合図として、各行政区において自主防災組織体系及び防災資機材の点検・確認を行い、希望のあった自主防災組織では、消火訓練・救急救命体験も実施されました。

今年度の避難訓練は、当町に震度6弱の地震が発生したという想定で、小手指、両新田自主防災会が避難訓練を行いました。各自主防災会では、情報伝達訓練や災害時要援護者の安否確認、避難ルートの確認などを行い、避難所の中央公民館まで徒歩で避難しました。

避難終了後には、陸上自衛隊古河駐屯地の協力により、資機材及び東日本大震災での活動写真が展示され、災害時の対応や資機材の使用方法などの説明を受け、はしご車、模擬スモーク、消火訓練・救急救命法を体験しました。

また、消防団・消防署・町職員は町の防災計画に基づき、被災地域の救援体制、避難所の開設、避難者受入れ等の訓練を行い、日赤

奉仕団（民生委員）は給食給水訓練及びパンフレットの配布を行いました。

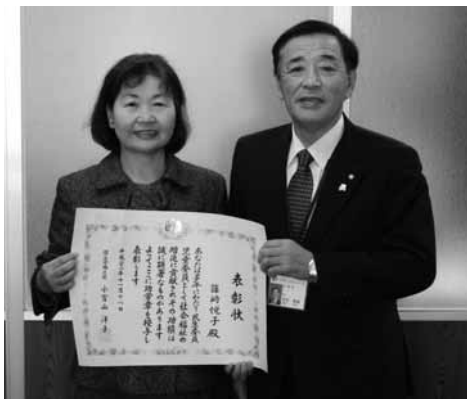


## 災害時における一時避難所及び供給協力に関する協定書締結式

五霞町防災の日である、11月最終日曜日に中央公民館講堂において、町と茨城県石油商業組合五霞部会（横田道夫部会長）との災害時における燃料の供給協力に関する協定書を締結しました。



## 篠崎悦子さんが厚生労働大臣の表彰を受けました



11月18日、日比谷公会堂において、「全国社会福祉大会」が開催され、社会福祉の発展に功績のあった方々の顕彰が行われ、本町から篠崎悦子さんが厚生労働大臣表彰を受賞されました。

篠崎さんは、昭和58年から民生委員児童委員として地域福祉の充実に努められ、現在は町民生委員児童委員協議会の会長として協議会の運営に尽力されています。

また、民生委員児童委員の経験を生かした心配ごと相談員やボランティア連絡協議会会長を務めるなど、多くの功績が認められ、このたび受賞となりました。

今後も、さらなる活躍を期待いたします。